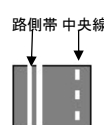


すべての学科教習勉強用問題3

- 問題 1 高速道路を通行する時は、故障などにより停止した時に使用する停止表示器材を前もって準備しておく必要がある。
- 問題 2 霧の時は、霧灯や前照灯を早めにつけ、危険防止のため必要に応じて警告音を鳴らすのがよい。
- 問題 3 右折しようとした時に、その交差点に反対方向から直進や左折をしてくる車がある場合、自分が先に交差点に入ってもその進行を妨げてはならない。
- 問題 4 この標識のある交差点で停止線がない時は、標識の直前で停止しなければならない。
- 問題 5 シートベルトは交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たせることにより、運転中の疲労を軽減するなど、さまざまな効果がある。
- 問題 6 大型自動二輪車や普通自動二輪車を運転して交差点を右折する場合、あらかじめ道路の中央に寄り交差点の中心のすぐ外側を徐行して進行しなければならない。
- 問題 7 この二つの標識がなければ、歩行者の通行や他の車などの正常な通行を妨げるおそれがある場合でも、横断や転回をしてよい。
- 問題 8 歩道や路側帯や自転車道は、道路に面した場所に入出入りするために横切る場合を除いては、通行してはならない。
- 問題 9 踏切とその端から前後10m以内の場所は、駐車も停車もしてはならない。
- 問題 10 片側が転落の恐れのある崖になっている道路で、安全な行き違いができないときは、山側の車が一時停止して道を譲るのがよい。
- 問題 11 この標示のBの部分を進行中の車は、右左折の場合に限り他の車両通行帯へ進路を変えることができる。
- 問題 12 車は左折の時、内輪差が生じるが、右折の時は発生しない。
- 問題 13 普通自動車がやっと行き違いができるような幅の狭い道であっても、駐車禁止の場所でない時は、駐車することができる。
- 問題 14 この標識は「二輪の自動車、原動機付自転車の通行止め」を表している。
- 問題 15 中央分離帯のある高速自動車国道の本線車道では、大型乗用自動車、中型乗用自動車の法定最高速度は、時速80キロメートルである。
- 問題 16 この標識は、「車線数減少」を表している。
- 問題 17 雪道では、横すべりが起こり易いので、急発進、急加速、急ハンドルは絶対に避けなければならない。
- 問題 18 交通事故を目撃しても、事故に関係がない時は、負傷者の救護などに協力しない方がよい。
- 問題 19 この信号機の信号に対する歩行者、路面電車、自動車は他の交通に注意して通行することができる。
- 問題 20 走行中にエンジンの回転数が上がった後に故障などにより下がらなくなった時は、四輪車の場合、ギアをニュートラルにするとよい。
- 問題 21 この標識は、自転車および歩行者専用道路であることを表している。
- 問題 22 転回する時の合図の時期は、転回しようとする地点の30m手前の地点に達した時である。
- 問題 23 変形ハンドルの二輪車を運転する事は、運転の妨げとなり危険である。
- 問題 24 この標識は、原動機付自転車および軽車両を除く、車両の通行禁止を表している。
- 問題 25 前の車が自動車を追い越そうとしている時や、後ろの車が自分の車を追い越そうとしている時は、追い越しをしてはならない。
- 問題 26 エンジンブレーキは、スロットルの戻し又はシフトダウン(低速ギアに変えること)がある。
- 問題 27 この標識のある車両通行帯を通行しようとする自動車は、交通が混雑して路線バスなどが近づいてきても、そこから出られなくなる恐れがある時は、始めから通行してはならない。
- 問題 28 自家用の普通貨物自動車の日常点検は、運転する前に1日1回点検しなければならない。
- 問題 29 進路の前方に障害物がある時は、一時停止か減速して反対方向から来る車に道を譲らなければならない。
- 問題 30 標識や標示などで最高速度が指定されていない道路では、普通自動車の最高速度は50km/hである。
- 問題 31 高速道路の本線車道では、車両通行帯のやや左側の白い線を目安に走ると、後続の車が追い越す場合に十分な間隔がとれて安全である。
- 問題 32 この標示の路側帯は、車は駐停車することはできないが通行することはできる。
- 問題 33 二輪車で走行中に急ブレーキをかけると、車輪の回転数が止まり横すべりを起こす原因となるので、ブレーキをかけるときは数回に分けて使うのがよい。
- 問題 34 この標識は、「上り急こう配あり」を表している。
- 問題 35 パーキングチケット発給設備がある時間制限駐車区間で駐車する場合、標識によって表示されている時間を超える恐れがある時は、終了直前に再度手数料を支払ってから時間を延長しなければならない。
- 問題 36 二輪車を運転中、徐行するためにこのような手による合図をした。
- 問題 37 この標識はこの先に「左カーブ」があることを表している。



問題 38 車から離れる時は、オートマチック車はチェンジレバーをPに入れ、それ以外の車は平地や下り坂ではバック、上り坂ではローに入れておくとよい。

問題 39 アンチロック・ブレーキシステムを備えた自動車急ブレーキをかける場合には、システムを作動させるためにまずできるだけ軽く踏み、それから必要な強さまで徐々に踏み込まなければならない。

問題 40 山道でのカーブでは、対向車が中央線をはみ出して来ることもあるので、できるだけ路肩を通行するのがよい。

問題 41 走行中の車はギアをニュートラルに入れたら、すぐに停止するが、これをエンジンブレーキという。

問題 42 雨の中を高速で走行すると水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキがきかなくなることもあるが、これをハイドロプレーニング現象という。

問題 43 交差点で右折しようとする自動車が、この信号機の信号に対面した時は、停止線をこえて交差点の中心まで進み、右折の青矢印に変わるまで待たなければならない。



青色の矢印

問題 44 二輪車でカーブを曲がる時は、車体を傾けると横すべりしやすいので車体を傾けないようにしてハンドルを切るとよい。

問題 45 二輪車の正しい乗車姿勢は、ステップに土踏まずをのせ、足の裏が水平になるようにし、つま先が前を向き、タンクを両ひざでしめるのがよい。



問題 46 この標識は、路肩がくずれやすくなっているので注意の必要があることを表している。

問題 47 大型乗用自動車、中型乗用自動車、普通自動車(三輪のものを除く)、総排気量125ccを超える自動二輪車の高速自動車国道での最高速度は、100km毎時である。

問題 48 11人乗りのマイクロバスは、普通免許を受けている者は運転することができる。



問題 49 この標識はこの先で、落石があるので注意しなければならないことを表している。

問題 50 大型自動車のすぐ後ろを通行している時は、前方の状況が見えないので二つの車両通行帯にまたがって通行してもよい。

問題 51 交通整理が行われていない道幅が同じような交差点では、路面電車や左方からくる車がある時は、その路面電車や車の進行を妨げてはならない。



問題 52 この標識のある場所は、地上から表示されている高さ(積荷を含む)をこえる車は通行できない。

問題 53 高速道路では、長い時間高速運転しても、歩行者や信号機の信号に対する注意が必要ないので、休憩時間は一般道路より少ない運転計画を立てたほうがよい。

問題 54 車から離れている時は、短時間ならハンドブレーキを引けば、エンジンを止めたり、ハンドルロックしたりする必要はない。

問題 55 このような道路では、車道の左端に駐車や停車をすることができる。



問題 56 踏切を通行する時は、踏切の向こう側が混雑していて踏切内で身動きが取れなくなる恐れのある時は、踏切内に入ってはならない。

問題 57 パーキングチケットの発給設備のある場所で発給を受けたパーキングチケットは、駐車している間は大切に保管しなければならないので、車のダッシュボードの中に入れるか、個人で携帯しなければならない。

問題 58 普通貨物自動車(三輪の普通自動車と総排気量660ccの普通自動車を除く)の積荷の高さは、地上から2.4mを超えてはならない。

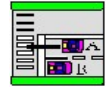
問題 59 この標識のある交差点で右折する原動機付自転車は、信号機の信号に従い、自動車と同じ方法で右折しなければならない。



問題 60 雨の日は窓を開けておくと湿度で車内のガラスがくもることが多いので、側面ガラスを開けるなどしてくもりを防ぐとよい。

問題 61 車を運転してトンネルに入る時は、トンネルの明るさに早く慣れさせるためにも、速度を落とさずそのまま通行するのがよい。

問題 62 このような場合、A車は停止しているB車の横を通過する時は、徐行しなければならない。



問題 63 停止距離とは、ブレーキが実際にきき始めてから車が停止するまでの距離をいう。

問題 64 車を運転中に地震災害に関する警戒宣言が発せられた時に車を置いて避難する場合は、できるだけ道路外の場所に移動しておかなければならない。



問題 65 このような交通整理が行われていない道幅が同じような交差点では、A車はB車の通行を妨げてはならない。

問題 66 一方通行の道路で緊急自動車が近づいてきた時は、左側に寄るとかえて緊急自動車の妨げとなるようなときであっても、必ず左側に寄らなければならない。

問題 67 高速道路でやむを得ず急ブレーキをかける時は、クラッチペダルとブレーキペダルを同時に踏むのがよい。



問題 68 この標示は前方に横断歩道があることを表している。

問題 69 横断歩道や自転車横断帯に近づいた時は、横断する人や自転車がいないことが明らかな場合の他は、その手前で停止できるように速度を落とす進まなければならない。

問題 70 歩行者専用道路では沿道に車庫をもつ車などで特に通行が認められた車だけが通行できるが、この場合は特に歩行者に注意して徐行しなければならない。

問題 71 走行中、オーバーヒートした時は、直ちに車を止めて、ラジエーターキャップを開き、水を補給したほうがよい。

問題 72 二輪車を運転してカーブを通行する時は、カーブの途中ではスロットルで加減することが大切である。

問題 73 優先道路を通行している場合を除き、交差点とその手前30m以内の場所では、他の自動車や原動機付自転車を
追い越すため進路を変えたり、その横を通り過ぎたりしてはならない。

問題 74 普通自転車は、この標示を越えて交差点に進入してはならない。



問題 75 走行中に後輪が右に横すべりをした時は、ハンドルを左に回し車体の向きを立て直すようにするとよい。

問題 76 二輪車を運転している時は、ステップに土踏まずを乗せて、足先は不用意にブレーキを踏まないようにブレーキペダルの下に位置するのがよい。

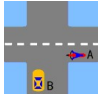
問題 77 この標識のある道路では、車の右側の道路上に6mの余地があれば駐車できる。



問題 78 二輪車のブレーキのかけ方には、ブレーキレバーやブレーキペダルを使って前後輪のブレーキをきかせる
ほかに、スロットルの戻し、またはシフトダウンによるエンジンプレーキがある。

問題 79 交通整理の行われている交差点で警察官が「止まれ」の合図をしたが、信号が青だったので徐行して通行した。

問題 80 災害対策基本法による通行禁止区域等においては、警察官がいない時に自衛官や消防吏員が車の移動など必要な
命令を行うことができる。



問題 81 このような交差点ではAの原動機付自転車の進行をB車は妨げてはいけない。

問題 82 大型貨物自動車は、登坂車線のある高速道路において、必ず登坂車線を通行しなければならない。

問題 83 長時間単調な運転を続けると眠くなることがあるので、少しでも眠くなったら安全な場所に止めて休憩をとることが
大切である。

問題 84 二輪車は、走行を安定させるためハンドルが重くなるように整備する。

問題 85 踏切や交差点の中でエンストして、エンジンがかからない時は、マニュアル車の場合(クラッチスタートシステム装着車
を除く)、非常手段としてギアをローかセカンドにいれセルモーターを使って動かす。

問題 86 車から降りるためにドアを開ける時は、後方からの車の有無を確かめ、まず少し開けて一度止め、安全を確かめてから
降りた方がよい。

問題 87 道路の左端や信号機にこの表示板がある時は、車は前方の信号が赤や黄色であっても、歩行者や周りの
交通に注意しながら左折することができる。



問題 88 交通事故を起こしてしまった時は、後日の示談交渉で必要なため、まず最初に保険会社に事故の報告をするとよい。

問題 89 車の積載物によって外からナンバープレート、ブレーキ灯、尾灯などが見えない時は、後方に見張りの人を乗車させれば
運転することができる。

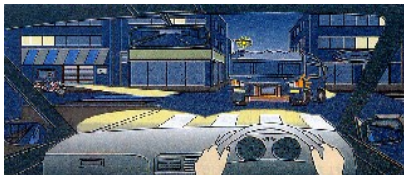
問題 90 二輪車でカーブを通行する時は、カーブの途中ではクラッチを切って常にエンジンの力をかけておき、速度はスロットルで
加減しカーブの後半で前方の安全を確かめてからやや加速するのがよい。

問題 91 交差点で右折まちのため止まっています。どのようなことに注意しますか？



- ①バスは対向の乗用車に妨げられてすぐには進行してこないと思われるので、その前に右折する。
- ②バスは自分の車が右折するのを待ってくれると思われる、また、後続車があるので、すばやく右折する。
- ③バスの後ろの状況がわからないので、バスが通過した後で様子を確かめてから右折する。

問題 92 40Km/hで優先道路を進行しています。この場合、どのようなことに注意しますか？



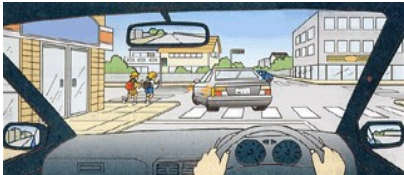
- ①二輪車は夜間の為自分の車との距離感を誤って交差点に入ってくると思われるので、速度を落として進行する。
- ②前照灯を下向きのまま進行すると、二輪車は自分の車に気付かないかもしれないので、前照灯をしばらく上向きに切り替えて進行する。
- ③自分の車は優先道路を進行しており、二輪車が先に交差点に進入することは無いと思われるので、このままの速度で進行する。

問題 93 40Km/hで進行しています。この場合、どのようなことに注意しますか？



- ①歩行者が足をとられて自分の進路へ飛び出してくるかもしれないので、速度を落として進行する。
- ②他の車が通った後を通行すると、横滑りする恐れがあるので、なるべく通らないようにする。
- ③路面が凍結しており、カーブを曲がりきれない恐れがあるので、カーブの手前で十分減速する。

問題 94 30Km/hで進行しています。交差点を直進する時は、どのようなことに注意しますか？



- ①前の車が横断歩道の手前で急に止まるかもしれないので、右側方へ寄って、そのままの速度で進行する。
- ②対向車は、前の車の陰になっている自分の車に気付かず、先に右折するかもしれないので、その動きに注意して進行する。
- ③交差点の中の様子がわからないので、横断歩道の手前で一時停止する。

問題 95 40Km/hで進行しています。どのようなことに注意しますか？



- ①前の車が急に止まるかもしれないので、車間距離をあけてその動きに注意して進行する。
- ②前の車が対向車との行き違いのため、後退してくるかもしれないので、車間距離を広くとって止まる。
- ③ワゴン車と電柱の間を通り抜ける間隔はあるが、カーブミラーに対向車が見えて危険なので、車間距離を保って進行する。

全ての学科教習勉強用問題3 解答

↓ ^{りしゅうばんごう きょうしゅうこうもく お か きょうほん しら べんきょう} 履修番号を教習項目に置き換えて、教本で調べて勉強してください。

問題 1	○	履修番号 26	問題 26	○	履修番号 5・18	問題 51	○	履修番号 6	問題 76	×	履修番号 1・18
問題 2	○	履修番号 19	問題 27	○	履修番号 5	問題 52	○	履修番号 3	問題 77	○	履修番号 22
問題 3	○	履修番号 6	問題 28	○	履修番号 21	問題 53	×	履修番号 26	問題 78	○	履修番号 5・18
問題 4	×	履修番号 3	問題 29	○	履修番号 9	問題 54	×	履修番号 22	問題 79	×	履修番号 2
問題 5	○	履修番号 1	問題 30	×	履修番号 5	問題 55	○	履修番号 22	問題 80	○	履修番号 19
問題 6	×	履修番号 6	問題 31	○	履修番号 26	問題 56	○	履修番号 4・6	問題 81	○	履修番号 6
問題 7	×	履修番号 8	問題 32	×	履修番号 5・22	問題 57	×	履修番号 22	問題 82	×	履修番号 26
問題 8	○	履修番号 4	問題 33	○	履修番号 5・18	問題 58	×	履修番号 23	問題 83	○	履修番号 17
問題 9	○	履修番号 22	問題 34	×	履修番号 3	問題 59	×	履修番号 3・6	問題 84	×	履修番号 21
問題 10	×	履修番号 9・18	問題 35	×	履修番号 22	問題 60	○	履修番号 19	問題 85	○	履修番号 6
問題 11	×	履修番号 8	問題 36	○	履修番号 8	問題 61	×	履修番号 17・26	問題 86	○	履修番号 6
問題 12	×	履修番号 6	問題 37	×	履修番号 3	問題 62	×	履修番号 7	問題 87	○	履修番号 2
問題 13	×	履修番号 22	問題 38	○	履修番号 22	問題 63	×	履修番号 5	問題 88	×	履修番号 24
問題 14	○	履修番号 3	問題 39	×	履修番号 5・18	問題 64	○	履修番号 19	問題 89	×	履修番号 23
問題 15	×	履修番号 26	問題 40	×	履修番号 18	問題 65	○	履修番号 6	問題 90	×	履修番号 18
問題 16	○	履修番号 3	問題 41	×	履修番号 18	問題 66	×	履修番号 5	問題91		
問題 17	○	履修番号 19	問題 42	○	履修番号 19・26	問題 67	×	クラッチはあとから踏む	(1) × (2) × (3) ○		
問題 18	×	履修番号 24	問題 43	×	履修番号 2	問題 68	×	履修番号 3	問題92		
問題 19	○	履修番号 2	問題 44	×	履修番号 18	問題 69	○	履修番号 7	(1) ○ (2) × (3) ×		
問題 20	○	履修番号 19	問題 45	○	履修番号 1・18	問題 70	○	履修番号 4	問題93		
問題 21	×	履修番号 3	問題 46	×	履修番号 3	問題 71	×	冷えてから水を補充する。	(1) ○ (2) × (3) ○		
問題 22	○	履修番号 8	問題 47	○	履修番号 26	問題 72	○	履修番号 18	問題94		
問題 23	○	履修番号 21	問題 48	×	履修番号 10	問題 73	○	履修番号 9	(1) × (2) ○ (3) ○		
問題 24	×	履修番号 3	問題 49	×	履修番号 3	問題 74	○	履修番号 3	問題95		
問題 25	○	履修番号 9	問題 50	×	履修番号 4	問題 75	×	履修番号 19	(1) ○ (2) ○ (3) ○		

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを学科教本を使って理解できるまで勉強しましょう。→問題で覚えると、問題文が変わるとわからなくなります。